

年 組 名前：

県立博物館にカフェ

県産果実のスイーツ提供
若手パティシエ育成拠点に



県立博物館内に整備したカフェ

＝笛吹市御坂町成田

県は笛吹・県立博物館内にカフェを整備した。県産果実を活用したスイーツによる観光振興を図るための拠点施設にすることを目指して、1年を通じて旬の果実を使用した商品を提供する。

カフェは使われていなかった店舗スペースを改修して整備した。レズンサンドなどで知られる「葡萄屋 kofu」の運営などを手がけるプロウインチア（甲府市）が運営事業者となり、屋内22席、屋外20席を設けている。

スイーツごとにパフェなどさまざまなスイーツを用意。5月末まで販売している新商品「桃と苺のミルクイユ」（600円）は、折り重ねたハイ生地や新鮮なイチゴと県産黄金桃のコンポートなどを使った一品

県はパティシエの育成につなげようと、若手の職人が開発したスイーツを販売するチャレンジショップとしても活用する方針。

営業時間はゴールデンウィーク（GW）から10月末までは午前10時～午後5時、それ以外は午前11時～午後4時半（いずれもラストオーダーは同4時）。博物館休館日は休業。

〈小池直輝〉

(2024年5月2日付 山梨日日新聞 15面)

問1

山梨県が、県立博物館内にカフェを整備した理由を、教えてください。

.....

問2

5月末まで販売している商品の名称と、その特徴を教えてください。

・名称:

・特徴:

問3

県はカフェをパティシエの育成につなげるために、なにをしていますか。

.....